

■松田町の地方創生関連交付金の採択状況

*網掛け部分をご意見をお伺いした交付金事業

NO	交付金種別	年度	事業名称	事業費(千円)	交付額(千円)
1	先行型	H27	まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定事業	3,942	3,942
2			松田町魅力再発見事業(合併60周年記念事業)	3,628	1,336
3			学校ICT推進事業	22,645	18,578
4	加速化型	H28	あしがらローカルブランディング推進事業 【広域:1市5町】	6,545	6,545
5			未病の戦略的エリア未病いやしの里構築事業 【広域:県+2市8町】	7,998	7,998
6			Yadoriki Healing Village 愛犬との共生が癒しと賑わいを創出する里づくりプロジェクト	65,457	65,457
7	推進型	H28	〃 (有害獣対策等を追加) ~H30年度 ☛H29 予算: 18,257 千円 ☛総事業計画費: 43,757 千円	12,000	6,000
8			県西地域活性化プロジェクト推進事業 【広域:県+2市8町】 ~H32年度 ☛H29 予算: 31,380 千円 ☛総事業計画費: 129,520 千円	8,000	4,000
9			女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業 ~H32年度 ☛H29 予算: 26,000 千円 ☛総事業計画費: 170,000 千円	5,000	2,500
10	拠点整備型	H28 (H29)	織りなす柄が新たな絆を創出する「仮称:WEAVE MATSUDA」整備事業 ~文化・スポーツ・未病改善・国際交流機能を有した複合施設へのリノベーションによる賑わいある広域拠点づくり~ *県西地域活性化プロジェクト推進事業と連携	120,000	60,000

補助率
1/2

地方創生推進交付金について

1. 地方創生推進交付金の概要

本年度に創設された国交付金で、予算額1,000億円、補助率は1/2（残りの1/2は、地方財政措置有り）。町の総合戦略に位置付けられ先導的な取組みであること、ソフト事業を中心とし（1/2以上）、ソフトと密接に関連するハード事業（施設整備事業等）が対象となることが要件で、次の3タイプとなる。

なお、市町村における事業数の上限は、法定期間内（～平成32年度）で町単独・広域連携を合わせて計4事業まで。

タイプ	事業費上限額	認定期間	要件
先 駆	2 億円 補助：1 億円	5 年間以内 例：H28～32	自立性・官民協働・地域間連携・政策間連携の4条件すべてを満たす
横展開	1 億円	3 年間以内	自立性に加え、官民協働・地域間連携・政策間連携のうち2条件を含む
隘路打開	補助：5000 万円	例：H28～30	

2. 採択事業の概要について

(1) 県西地域活性化プロジェクト推進事業 * 広域連携事業：県+2市8町

●平成28年度事業費：8,000千円 → 交付申請額4,000千円

○先駆タイプ ○事業期間：～平成32年度 ○認定地域計画における事業費総額：129,520千円

県西地域の地域資源を「未病の改善」というキーワードでつなげ、圏域の活性化を図る加速化交付金事業から継続するもので、各市町の事業を神奈川県が取りまとめて申請した。

本町では、本年度に県西地域北部の交通の要衝たる駅周辺エリアにおいて、広域的な観点からあるべき姿、果たすべき役割を調査（交通量調査・利用者意向アンケート・県西活性化＝未病改善に向けたネットワーク構築・官民連携による

事業手法の検討) する内容で申請。

来年度以降(～平成 32 年度)は、本年度の調査結果によるが、町民文化センターを拠点として、未病改善に係る連携や、オリ・パラ、ラグビーWCの開催を念頭に、国際交流を広域的に展開するなどの事業を検討している。

(2) 女性が輝き活躍する コンパクトシティ 創生事業 * 町単独事業

●平成 28 年度事業費：5,000 千円 → 交付申請額 2,500 千円

○先駆タイプ ○事業期間：～平成 32 年度 ○認定地域計画における事業費総額：170,000 千円

本町の将来人口や生産年齢人口に影を落としている若年女性の減少対策として、昨今のトレンドでもある「女性目線」をキーワードに、子育て支援や就労支援等の施策を総合的かつ集中的に取り組み、現在、整備に向け検討を進めている駅周辺のまちづくりと連動して展開する。

本年度は、このキーワードによる駅周辺のコンパクトシティづくりを、ソフト事業、組織づくり、公共施設の再編と絡めて調査・検討する内容で申請。

来年度以降(～平成 32 年度)は、旧松田土木事務所跡地周辺を拠点エリアとして、既存施設のリノベーションや女性が活躍する地域商社の設立を目指した取組みを推進していく。

地方創生拠点整備交付金について

1. 地方創生拠点整備交付金の概要

本年度に創設された国交付金で、予算額900億円、補助率は1/2（残りの1/2は、地方財政措置有り*）。町の総合戦略に位置付けられ先導的な取組みで、単なる施設改修等ではなく、地方創生に寄与し未来への投資につながるハード事業（施設整備）を対象とし、密接に関連するソフト事業（効果促進事業）は20%まで許容される。

なお、市町村における事業費上限額は1億2,000万円。繰り越しが可能であるため、事業実施は平成29年度となる。

2. 採択事業の概要について

松田町民文化センター及び松田町立公民館のリノベーションを12月下旬に申請。ソフト事業を主とした地方創生推進交付金事業と連携した整備計画としている。2月3日に内示（県内8市町村）があり、今後は3月に交付決定を予定。

(1) 事業名 織りなす柄が新たな絆を創出する「仮称：WEAVE MATSUDA」整備事業

～文化・スポーツ・未病改善・国際交流機能等を有した複合施設へのリノベーションによる賑わいある広域拠点づくり～

(2) 事業費：1億2,000万円 → 交付申請額6,000万円

(3) 事業年度：平成29年度（繰越予定）

(4) 事業概要：

昭和56年に建設した松田町民文化センター及び松田町立公民館は、老朽化が著しく、利用者はピーク時の3割弱まで落ち込んでいる。

本事業では、同施設を従来に無い新たな機能を備えた広域的な複合拠点施設へリノベーションすることで、賑わいの復活と地域経済を活性化させていく。新たな機能は、トレンドや今後の可能性を加味したスポーツ環境（スポーツクライミング）の整備と、東京オリンピック2020等を控えインバウンド対応に資する国際交流基地の構築等とし、拠点としての役割は本町のみならず、県西地域へ波及する効果が見込めるものを目指す。

本事業は、新たな顧客獲得（稼ぐ）に取り組むものであり、同時に駅周辺エリアで定まっていない賑わいある地域の拠点（核）を創出する役割を果たす。そして、新たな拠点から織りなされる事業（柄）は、相乗効果をもたらしながら、

足柄の広域拠点として地域を繋ぐ連携（絆）を強める。

事業の運営に際しては、従来のようにサービスを提供するだけでなく、付加価値に対価を発生させる内容を目指し、民間活力を導入しながら、稼ぎ（大ホールの使用料増、スポーツライミングの利用料、カフェの売上、英会話教室の運営、通訳・案内マッチング運営による収入）、自走可能なスキームを構築する。特に、同施設の現状として維持管理経費（支出）と使用料等（収入）の収支は、年 4,000 万円を超える赤字（平成 26、27 年度平均）であるため、まずは収支バランスの均衡を図り、最終的には収益を生み出す「官民協働経営施設」を目指す。

*（ ）内の金額は、費用のうち効果促進事業分

【施工箇所】及び整備内容	費用(万円)
<p>【町民文化センター 西側外壁等】</p> <p>第二駐車場側の外壁にリード種目のスポーツライミングウォール（幅 6m×高さ 13m）を設置。複合施設として従来のイメージ（文化施設）を一新し、注目を集める広告塔の役割も果たす。</p>	3,000
<p>【町民文化センター 1階 大ホール及び楽屋等】</p> <p>1,000 人収容可能な大ホールの舞台正面壁にボルダリング種目の公式大会規格に即したクライミングウォール(幅 20m×高さ 5m)を設置。このウォール設置に伴って必要な舞台機構等の改修（舞台の狭小化によるオーケストラピット常設化や照明・幕等の移設など）とともに、訪日外国人をターゲットとした文化・芸術の鑑賞・体験に対応できるよう附帯設備等を更新する。また、楽屋となっている個室にスポーツライミング競技者の休憩機能を付加し、シャワールーム等を整備・改修する。</p>	6,000 (2,000)
<p>【町立公民館 2階 町民広場及び調理実習室等】</p> <p>現在利用の少ない町民広場を、常時、施設の玄関口として町民や来館者が集い憩えるスペース（青空広場）となるよう、一部に雨や陽射しを遮るひさしを設置し、誰もが気軽に無料で利用できる交流の場を創出する。また、未病改善・体力向上に資するパワーリフティングルームを現在の書庫（東側）に整備。更に利用頻度の低い調理実習室を地元商店や地域特産物と協働して健康料理を開発・販売する未病改善キッチンヘリノベーションする。</p> <p>こうして本事業で設置する各種施設の管理運営を担う事務所を現在の倉庫（西側）に整備する。</p>	3,000 (400)